

多 様 性 を 育 む 美術 展 覧 会

2022年3月6日(日)ー13日(日)

11:00ー18:00 (最終日3月13日(日)は17:00まで)

アーツ千代田 3331 (地下 B104)

【 入 場 無 料 】

*新型コロナウイルス感染症の予防対策として、来場時の検温、手指消毒、
マスク着用のご協力をお願いします。
また、展示室内の滞留人数に応じて入場をお待ちいただく場合がございます。



多様性を育むダンス & 美術プロジェクト (絵画・ファブリック・粘土)

障害のあるアーティストの発掘 & 育成、ファシリテーター育成、及び発表の場づくり

多様性を育む美術プロジェクトでは、障害のある人達と障害のない人達がお互いの創造性を触発しながら、作品制作を行っています。現代美術の手法を取り入れながら、制作され絵画作品、また、触覚による創造性を活かして作られた視覚障害のある方々による粘土やファブリックを使った作品、既成概念を解き放つ作品の数々をお楽しみください。本展覧会の作品は主に2021年6月から2022年2月までに開催された西村陽平氏(絵画・粘土)と眞田岳彦氏(ファブリック&ファイバー)のワークショップで生まれてきた個性豊かな作品の数々です。

■ 多様性を育む美術プロジェクト

クリエイティブ・アート実行委員会は発足以来、一貫して、障害を持つ人達と持たない人達がそれぞれ異なる創造性を学び合いながら、ダンスや音楽、美術分野において新しいアートの可能性を探る活動を展開してきました。このプロジェクトは東京北区のレジデンス・スペース「ココキタ」を拠点として、絵画や造形のワークショップを定期的に行っています。従来の写実的表現から積極的に現代アートのさまざまな手法を取り入れ、誰もが絵を描く、造形作品を創ることに挑戦しています。どなたでもご参加頂けます。どうぞ、お問合せください。

- ① 定期絵画&造形ワークショップ
- ② 触覚とアート・シリーズ：ミニワークショップと触覚にまつわるトーク
- ③ 手で見る彫刻の鑑賞事業：主に視覚障害のある方々を対象に、さまざまな彫刻作品を手でさわって鑑賞、学芸員やアーティストのトークを行う。
- ④ 地方出張ワークショップ
- ⑤ 都内&地方展覧会開催

■ ワorkshop講師プロフィール

西村 陽平 (日本女子大学名誉教授・美術家)

1973年東京教育大学教育学部芸術学科卒業。1975年から1998年まで千葉県立千葉盲学校で図工を担当。視覚障害の子どもたちに造形指導を行うとともに、自らも造形作家として活動。元・日本女子大学児童学科教授。

眞田 岳彦 (女子美術大学・大学院教授、造形家/繊維研究者)

ISSEY MIYAKE INC. を経て渡英、造形を学び彫刻家 Richard DEACON の助手を務め独立。20年以上にわたり日本各地で繊維アートプロジェクト開催。また国内外の展覧会参加や心療とテキスタイル研究による視覚障害者との造形活動等行う。

■ 出展者

板垣 敦子、大谷 重司、苅部 洋子、佐藤 恭子、佐野 ウォルフィ、中瀬 恵理、松尾 長将、用田 茉衣、飯嶋 萌、おもち、金井 亮介、久保 貴寛、高橋 雄貴、鉄井 理央、根本 佳苗、志村 夏歩

視覚に障害のある方のための特別観覧日

日時：3/6(日) 13:00-17:00

視覚に障害のある方のためにスタッフがご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況によって、変更や延期、中止になる場合がございます。

■ 会場

アーツ千代田 3331 住所：〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

交通アクセス：東京メトロ銀座線末広町駅 4番出口徒歩1分／

東京メトロ千代田線湯島駅 6番出口徒歩3分／JR 御徒町駅南口徒歩7分

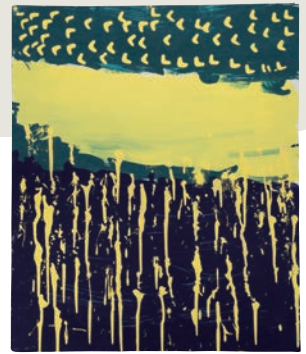


photo:Wataru Koyama

ワークショップ・展覧会を開催してませんか？

多様性を育むダンス&美術プロジェクトでは、障害のある方々との表現活動に関心のある団体や、福祉作業所、美術館などとワークショップの企画を一緒に行ったり、作品の貸し出しを全国で行っています。今後、障害のある方々との新たな表現活動をしたい、展示スペースなどを活用したい、といったご希望がありましたら、遠慮なくお問合せください。講師の旅費や滞在費、作品郵送代はこちらで負担しています。これまでに長野県信濃美術館&上田市立美術館、もう一つの美術館、高知県立盲学校、薫工ミュージアム、勝央美術文学館(岡山県)、他多くの団体に講師の派遣、また、展覧会などを共催していただいています。

